

地震・津波等における生徒の対応

南海トラフ地震に関連する情報（臨時）	在校時（生徒）	登下校途中（生徒）	在宅時（生徒）
○南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合	<input type="checkbox"/> 原則として平常の活動を継続 <input type="checkbox"/> 南海トラフ地震に関する情報と今後の対応について説明を受ける	<input type="checkbox"/> 平常の活動を維持 <input type="checkbox"/> 一斉メール、マスメディア等から情報を収集	
○観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合	<input type="checkbox"/> 諸活動を中止しHR集合、帰宅準備、グラウンド集合 <input type="checkbox"/> 部活動中はグラウンド集合 <input type="checkbox"/> 以降は下欄（A）による	<input type="checkbox"/> 帰宅か登校か判断し行動 <input type="checkbox"/> 最寄りの避難所の想定 <input type="checkbox"/> 一斉メール、マスメディア等から情報収集 <input type="checkbox"/> 登校した後は指示された場所に集合し、以降は下欄（A）による	<input type="checkbox"/> 休校 <input type="checkbox"/> 避難地を確認し避難準備 <input type="checkbox"/> 安全の確保に努め、家族との連絡 <input type="checkbox"/> 一斉メール、マスメディア等から情報収集
○南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が相対的に高まった状態ではなく、なると評価された場合	<input type="checkbox"/> 学校活動の再開		<input type="checkbox"/> 一斉メール等の指示に従い登校準備

地震・津波等の状況	在校時（生徒）	登下校途中（生徒）	在宅時（生徒）
清水区において震度5強以上の地震が発生	<input type="checkbox"/> 安全を確保する。 <input type="checkbox"/> 揺れが収まったらグラウンドに集合 <input type="checkbox"/> 津波が予想される場合3階以上に避難。危険がおさまれば各HRに集合。 <input type="checkbox"/> 以後は下欄（A）による。	<input type="checkbox"/> 安全を確保 <input type="checkbox"/> 一斉メール、マスメディア等で正確な情報を求める <input type="checkbox"/> 最寄りの避難所へ避難 <input type="checkbox"/> 揺れが収まり次第原則帰宅 <input type="checkbox"/> 場所により登校した場合、在校時の対応に準ずる <input type="checkbox"/> 帰宅後一斉メール等で今後の行動を決定	<input type="checkbox"/> 安全を確保 <input type="checkbox"/> 休校 <input type="checkbox"/> 自宅や避難所等で待機 <input type="checkbox"/> 一斉メール、マスメディア等で正確な情報を求める <input type="checkbox"/> 一斉メール等で今後の行動を決定
清水区以外の生徒居住地で震度5強以上の地震が発生	<input type="checkbox"/> 被災地域の情報を確認 <input type="checkbox"/> 被災地域に居住する生徒は学校に残留、以後は下欄（A）による。 <input type="checkbox"/> 他の生徒は、安全を確認し、同地区生徒と一緒に帰宅する。交通機関の関係で帰宅できない場合は、下欄（A）による。	<input type="checkbox"/> 安全を確保する <input type="checkbox"/> 一斉メール、マスメディア等で正確な情報を求める <input type="checkbox"/> 家族との連絡を取り合う <input type="checkbox"/> 登校か帰宅か最寄の施設で待機するか決定する	<input type="checkbox"/> 被災地域の生徒は上記に同じ <input type="checkbox"/> 被災地域でない生徒は学校の指示に従う（一斉メール等）
清水区又は、生徒の居住区において、津波・大津波警報が発令	<input type="checkbox"/> 原則として学校に残留 <input type="checkbox"/> 清水区以外の地域で発令された場合、その地域に居住する生徒は、警報が解除されるまで学校に残留する <input type="checkbox"/> 解除以降下欄（A）による	<input type="checkbox"/> 安全を確保する（津波危険予想地域の場合は津波避難ビルや高台へ避難する） <input type="checkbox"/> 一斉メール、メディア等で正確な情報を得る <input type="checkbox"/> 家族との連絡を取り合う <input type="checkbox"/> 登校か帰宅か最寄の施設で待機するか決定する <input type="checkbox"/> 登校の場合、校舎に避難し、以降左記に同じ	<input type="checkbox"/> 自宅等で待機（津波危険予想地域の場合は津波避難ビルや高台へ避難する）
(A) 地震その他の天災等が発生した場合の生徒の帰宅	【生徒の帰宅は下記による。】 1 保護者と連絡を取り、次のことについて相談して決める。（連絡が取れるまでは学校に残留する） ① 下校するか学校に残留するか。 ② 下校する場合、自力で下校するか、保護者の引き取りを待つか。（原則保護者引き取り） （自力下校の場合、同じ方面の生徒と集団下校する。） 2 保護者が迎えに来た場合は、安全を確認して保護者と帰宅する。 3 学校残留中は避難所設営協力、備蓄食糧等準備、宿泊準備、引き続き家庭との連絡。		
情報発信	【メールやホームページが利用できる場合】 1 一斉メール配信やホームページで学校の対応や生徒の状況をお知らせします。 2 帰宅した生徒の安否確認を一斉メールへの返信を利用して行います。		

（補足）

- 1 上記の場合分けで判断できないような複雑な状況の場合、自分の身の安全を第一に考えて行動する。
- 2 校外活動中の場合は、引率教員の指示に従い、在校時に準じた対応をする。（活動場所を保護者に伝えておく。）
- 3 居住地や通学路における避難所、避難地、避難ビル等の確認をしておく。
- 4 災害用伝言ダイヤル等の使い方を家族で一度は確認しておく。
- 5 携帯電話を利用しているご家庭は、緊急時の一斉メール連絡のため、家族で一人は清高学年メールに登録しておく